



バッタの飼いかたを教えて

大型容器で2～4ひき

大型の容器に、土を深さ5～10センチメートルほどしき、下の図のようにあきびんをさします。びんには水を入れ、えさのススキやエノコログサ、オヒシバなどをさしておきます。ほかに、リンゴやキュウリなどを、くしにさして入れてやります。バッタは共食いはしませんが、飼う容器に入れるバッタの数は少なめにします。

バッタは大食いですから、ひんぱんに、びんの水ごと、えさのエノコログサを新しいものと取りかえてやりましょう。3～4日に1回、ふんをそうじしてやります。

日光浴をさせる

バッタは、日あたりのよい草原にすんでいますので、1日に1～2時間ほど日光浴をさせてやります。あとは、風通しのよい、直接日光のあたらない、すずしい所に飼育容器をおいておきましょう。

卵で冬をこす

秋の終わり、メスは土中に卵を産み、やがて死にます。死がいはすぐ取り出しましょう。つぎの年の5～6月ごろ、卵から幼虫がかえります。冬の間、卵の保存は、土がかわきすぎないように、1週間に1回、きりをふいて湿らせてやります。

(監修・中山 周平)

